

令和6年1月24日

保護者の皆様

豊川市立金屋中学校  
校長 星川 敏成

## 第2回 「『生き生き笑顔の金中生』を目指すアンケート」結果のお知らせ

日頃から本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施いたしました「『生き生き笑顔の金中生』を目指すアンケート」の結果がまとまりましたので、ここにお知らせいたします。本校としましては、この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

12月に行ったアンケート調査で重点目標として掲げた項目についての検証と、今後の課題については、以下に示すとおりです。「%」の数値は、各設問に対してプラスの考え「そう思う・ややそう思う」を合わせたものになっています。全般的によい傾向がみられるものの、一部に課題が残る項目もありました。

### 《2学期の重点目標》

※数値は第2回(12月)のもので、比較対象として第1回(7月)を用いています。小数点以下は四捨五入しています。

#### ◎ 設問⑧「生徒会や委員会が企画・運営する活動に、参加・協力できていますか。」

1年生 87%(6Pアップ↑)    2年生 89%(4Pアップ↑)  
3年生 89%(2Pダウン↓)    全校 89%(4Pアップ↑)

全学年で90%に近い結果となり、1年生においては第1回の結果と比べて6P上昇しています。1学期と同様に2学期もコロナ禍以前の状態で学校行事を行うことができました。それに伴い、生徒会活動や委員会活動も活発に行われるようになりました。清掃や給食などの常時活動はもちろんのこと、あいさつ運動や読書を啓発する活動など、委員会が率先して活発に行う機会が増えました。生徒会活動や委員会活動の活性化は、全校生徒に元気を与えてくれます。今後も継続して生徒会活動や委員会活動を盛り上げ、「学校生活の楽しさ」を存分に味わうことができる金屋中学校を目指していきます。

#### ◎ 設問⑩「『ゴールデン賞』によって善い行いや活動が広がっていると思いますか。」

1年生 73%(2Pアップ↑)    2年生 66%(1Pダウン↓)  
3年生 72%(5Pダウン↓)    全校 71%(1Pダウン↓)

2、3年生で前回のポイントを下回りました。一見すると「善行に対する活動が広がっていない」と捉えられるかもしれませんが、しかし、設問②「みんなと協力して生活できていますか」94%、設問③「友達に親切にしたり、困っている友達を助けたりできていますか」95%、というようにこれらの設問は高いポイントを維持しています。この結果より、生徒間では協力して助け合う生活ができていると捉えられ、善い行いは普段の生活の中に潜んでいるのではないかと考えています。ゴールデン賞は、善い行いについて教員より推薦された生徒が学期末学年集会の中で表彰される賞です。表彰が1年に3回であるため、紹介不足は否めない面があります。その結果「ゴールデン賞から善い行いを広げる」ということに結び付けにくかったのかもしれませんが、金屋中ではゴールデン賞だけでなく、同じように生徒間で推薦し、表彰する「グリーン賞」も適宜、設けています。今後、生徒が今以上に善行に対する気持ちを育てていくために、集会だけでなく、朝の会や帰りの会を含め善行を認める場を増やしていきたいと考えています。

### 《3学期以降、次年度に向けての重点目標》

#### ・設問⑮「主体的に授業に取り組んでいますか。」

＜取組＞グループ活動を通して自分の考えを発表したり表現したりする場を設けるなど

#### ・設問⑳(変更)「『ゴールデン賞』や『グリーン賞』などによって善い行いや活動が広がっていると思いますか。」

＜取組＞「ゴールデン賞」「グリーン賞」の啓発活動、朝の会や帰りの会、学級の時間を使った活動など

なお、アンケート全体の結果については、本校ホームページに掲載してあります。そちらもご参照ください。